

U.S. Indicators

発表日:2024 年 6 月 4 日(火)

米国 製造業の調整幅が再拡大(24 年 5 月ISM製造業)

～先行き不透明感の高まりによる新規受注の急減が全体を押し下げ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24 年 5 月の I S M製造業景気指数(季節調整値)は、48.7(前月 49.2)と市場予想中央値の 49.5(筆者予想 49.6)への上昇に反して、前月比 0.5%低下した。新規受注や生産の低下を主因に、米製造業部門が縮小幅を拡大したことを示した。ただし、50 を小幅下回る水準にとどまっており、製造業部門の緩やかな調整を示唆している。

5 月の構成項目別の前月からの変化では、雇用が上昇した一方、新規受注、生産、在庫が低下したほか、入荷遅延が変わらずとなった。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.50%pt の押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲0.74%pt、生産が前月比▲0.22%pt、在庫が前月比▲0.06%pt の押し下げ寄与となった。入荷遅延は前月比 0.00%pt。

構成項目の水準では、雇用、生産が 50 を上回り拡大を示した一方、新規受注、在庫、入荷遅延が 50 を下回り、縮小を示した。雇用は、レイオフの減少により 8 ヶ月ぶりに 50 台を回復したが、雇用の拡大した業種数が 7 業種(前月 4 業種)と、一部の業種による押し上げにとどまっている。また、生産は、50 を維持したものの、生産の拡大した業種が 18 業種中 6 業種(前月 8 業種)に減少しており、限られた業種による拡大と判断される。一方、新規受注は、金利の高止まり、インフレ懸念の残存等を背景とした景気の先行き不透明感の強まりを受け一段と水準を切り下げ、拡大した業種は 18 業種中 4 業種(前月 8 業種)と減少した。在庫は、景気の先行きに対する慎重な見方や出荷の増加を背景に 50 を下回っている。入荷遅延は需要鈍化の影響とみられ 48.9 にとどまった。

サブ項目では、輸出受注 D I が 50.6(前月 48.7)と輸出が増加に転じたことを示した。一方、輸入 D I は 51.1(前月 51.9)と輸入の伸び鈍化を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、57.0(前月 60.9)と小幅低下したものの、高い水準にとどまった。商品別では、アルミニウム、プラスチック樹脂、ディーゼル燃料、天然ガス、電気部品、電子部品、海上輸送、等が上昇した。供給不足品では、引き続き電気部品などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
23/05	46.6	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.4	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0
24/03	50.3	51.4	54.6	47.4	48.2	49.9	46.3	55.8	51.6	53.0
24/04	49.2	49.1	51.3	48.6	48.2	48.9	45.4	60.9	48.7	51.9
24/05	48.7	45.4	50.2	51.1	47.9	48.9	42.4	57.0	50.6	51.1

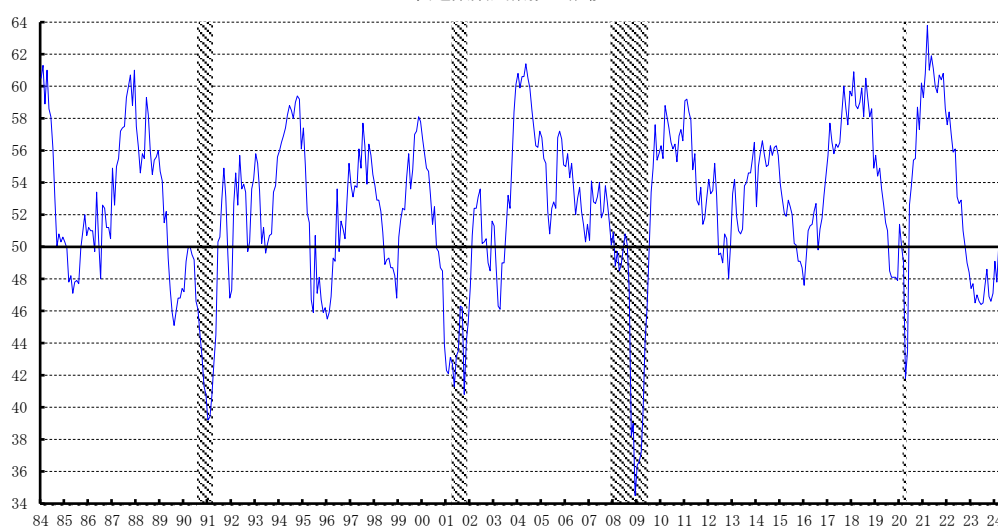
(出所) The Institute for Supply Management



5月に拡大した業種は、全18業種のうち印刷・関連サポート活動、石油・石炭、紙製品、繊維、二次金属、加工金属、化学製品の7業種と前月の9業種から減少した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は、加工金属と化学製品の2業種（前月2業種）となった。一方、縮小した業種は、木材製品、プラスチック・ゴム製品、一般機械、コンピューター・電子機器、家具・同関連、輸送機器、食品・飲料・タバコの7業種と前月の7業種から変わらずとなった。なお、非鉄、電気設備・部品、その他製造業、アパレル・皮革製品は前月比横ばいとなった。

製造業部門の活動は、政治・経済の先行き不透明感の高まりを背景とした需要の鈍化によって年末にかけて調整を続けると予想される。

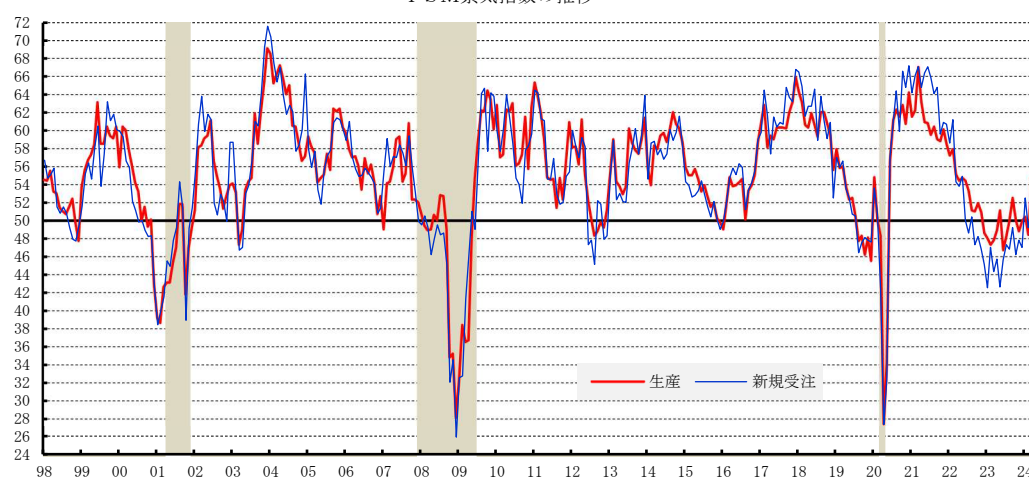
ISM製造業景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

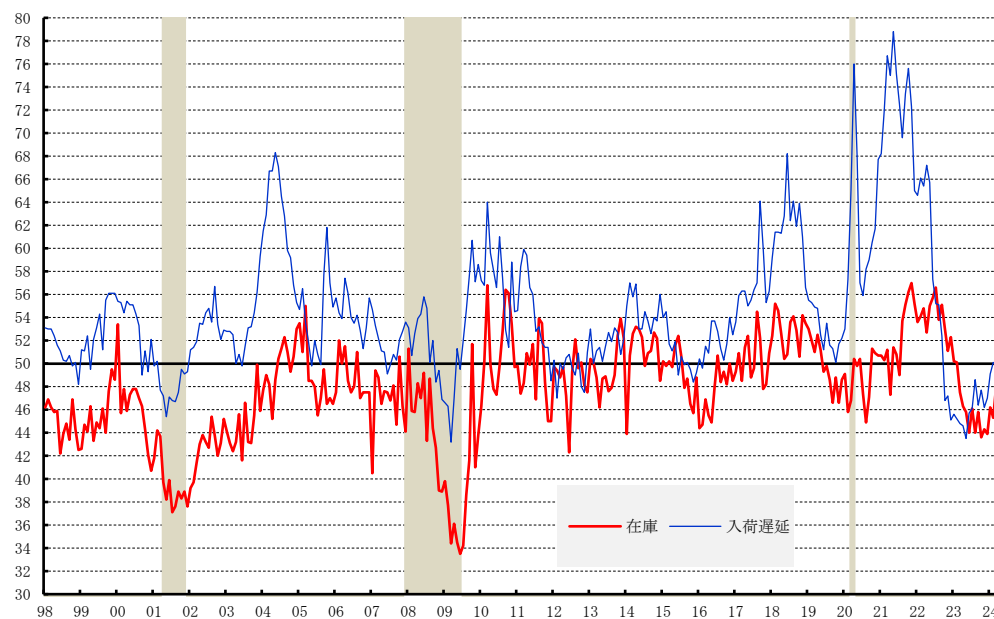
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

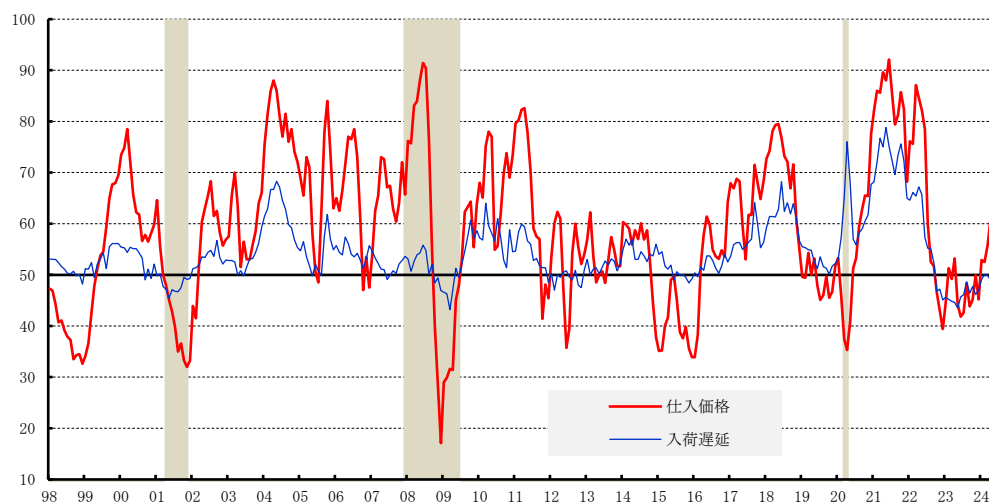
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

